



# OLIVE ニュース 6月号 2015

7月の予定 1日：避難訓練 3日：工賃支給日 9日理事会、評議員会

## さようなら大谷さん

六月十五日、大谷武彦様（七十二才）が他界されました。大谷さんは利用者のお父様で生前は保護者会会長をはじめ、事業所で作業スタッフとしてせっけんを作り担当、更に愛篤福祉会の監査として長い間阿列布を支えて下さいました。穏やかなお人柄、実直な性格は誰からも尊敬のまなざしで見られていた方でした。関係者一同、衷心より感謝申し上げます、改めてご冥福をお祈り申し上げます。

障害を持つ方が、ご両親はじめ身内の御不幸に遭遇するときどのように対応できるのか、葬儀場でも心配でしたがご本人は一生懸命に耐え、立派に対応しておりました。ご遺影に向かい「お父さん、さようなら」手を合わせた康晃さんの姿は参列者の胸を打つものがありました。数日後、ご利用者さんはご家族の皆さんに支えられてか、元気に通所しております。障害の子といえどいつか親との別れがあることを思えば、次の事業を急がなければと思います。

## 健康診断が終了いたしました。

好間町のそうまクリニック様の協力の元6月に毎日数人ずつ健康診断を行いました。ご家族の皆様にも採尿など、ご協力を頂いたおかげでスムーズに健康診断を終えることが出来ました。ありがとうございました。

阿列布が開所されて早十年、利用者も年齢を重ね体調ケアが必要な方が増えてきたように思います。お配りしました結果はより健康な毎日が過ごせるよう参考にしていただきたいと思います。

（看護師・草野すみえ）



## 共生型施設「静修苑」の建設状況をお知らせします

好間町鬼越に建設中の「静修苑」は以前の「おりーぶ一号館」が完全に取り払われ、重機が入り基礎工事が行われています。並行してどのような特色の事業所にしていくべきか、どう要望を実現していくか開所に向けて法人でも打合せを重ねております。

（事業本部長・草野）



## 見学がありました

六月二十六日大玉村にある「就労継続B型事業所フレンドリー大玉」さんが見学に見えられました。

今後は生活介護事業を行う予定で工房阿列布を参考にしたいとの事でした。事業所内を見学され、トイレ・更衣室など利用される方に配慮した作りを見て「参考にしたい」と感想をのべられたり生活介護の利用者さんを支えるにあたって熱心な質問をされていました。



## 寄付、物品寄贈の皆様

斎藤 康寿様 小松谷 純子様 半田 美江子様 供田 勝代様 いわき養護学校様 小松 秀行様  
フレンドリー大玉様

ありがとうございました